

# NPOの案内で地域巡る

館山総合高 1年生99人が「観光の学び」

館山総合高校（渡邊嘉幸校長）の1年生99人がこのほど、学校の魅力づくりを目指した学習「観光の学び」として、館山市内で校外学習を展開した。NPO法人安房文化遺産フォーラムのガイド

で、地域の魅力を学ぶ各校の魅力を高めようとして、県が平成24年度から取り組んでいる学校再編事業「県立学校改革推進プラン」の一

環。同校では、27年度から授業分野「観光の学び」を導入した。地域の自然や産業、文化を観光資源として学習することで、観光産業の意義や役割を理解し、地元への愛着と誇りを

持つ人材を育てることを狙いに行われている。



館山＝生徒ら体験する貝磨き

同NPOによる事前学習後、校外へ。同市の▽赤山地下壕（ごう）▽青木繁「海の幸」記念館▽阿由戸の浜と記念碑▽布良崎神社などを巡った。ガイドの説明に耳を傾け、地域の文化や、戦争の歴史、昨年の台風といった災害からの復興への思いに触れた。

旧安房陸高校の木造校舎では、見学とともに、教室で貝磨きのワークショップも実施。磨いた貝を使って、ペンダントをつくった。生徒らは楽しそうな表情を浮かべ、「かわいい校舎なので、大切にしたい」と話していた。